Economic Indicators

定例経済指標レポート

(No.J-8)

指標名:第3次產業活動指数(2月)

1-3月期の高成長を示唆

発表日: 4月22日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 新家 義貴

				電気・ガス・熱						飲食店 · 宿泊		
				供給・水道業	情報诵信業	運輸業	卸•小売業	金融•保険業	不動産業		医療、福祉	サービス
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期出
03		0.7	0.6			0.0	0.7	▲ 0.5	0.3	0.3	1.6	
	4-6月	0.1	0.8	▲ 1.2	2.3	▲ 1.4	0.0	1.3	1.2	▲ 1.6	0.5	
	7一9月	0.1	0.1	▲ 3.2	▲ 1.7	0.9	▲ 1.0		0.2	▲ 0.1	1.0	
	10-12月	1.0	1.8				1.2	0.8	▲ 0.2	1.9	0.6	
04		0.0	2.4			▲ 0.5	▲ 0.1	1.0	▲ 0.2	▲ 0.6	1.0	4
	4-6月	1.6	2.5			0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	
	7-9月	▲ 0.2	2.5		▲ 3.4		0.1	▲ 1.9	0.1	▲ 0.8	0.9	
	10-12月	0.6	2.0		3.7	▲ 0.1	▲ 0.1	0.6	0.6	▲ 0.1	0.2	
04		1.4	0.7	0.7	▲ 0.6	0.3	2.5	0.0	1.2	0.1	1.3	
	2月	▲ 0.1	0.9		1.5	▲ 0.1	▲ 0.3	0.8	▲ 0.6	▲ 0.5	0.4	
	3月	▲ 0.2	0.2	2.1	▲ 2.5	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.2	0.4	1.0	▲ 0.1	
	4月	0.0	0.3	▲ 1.1	2.4	▲ 1.5	0.1	0.5	0.8	▲ 3.1	▲ 0.3	4
	5月	0.4	0.6			0.5	1.0	0.9	1.1	1.5	1.5	
	6月	0.1	1.6		5.3		▲ 0.6	2.2	▲ 1.1	0.2	▲ 0.9	4
	7月	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 9.1	▲ 7.3	0.6	▲ 1.6	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	1.2	
	8月	1.5	▲ 0.1	7.8 5.5	3.5 1.7	0.1 0.1	1.2 0.0	0.4	1.6	▲ 0.8	▲ 0.7 0.9	
	9月	0.8 0.8	1.7	1.5 1.8 1.8		1.3	3.0	1.5 0.6	▲ 0.6 ▲ 1.1	2.6 ▲ 0.1	0.9	
	10月 11月	0.8 ▲ 1.2	2.5 0.5	▲ 3.8 ▲ 0.6	0.4	1.3 ▲ 2.0	3.0 ▲ 3.6	0.6 ▲ 0.7	▲ 1.1 1.0	▲ 0.1 ▲ 0.4	0.6 ▲ 0.5	
	12月	0.0	2.4	0.4	0.3 2.1	0.7	0.6	▲ 0.7 ▲ 1.5	0.3	2.5	0.5	4
		2.0	2.5		<u>∠.1</u>	0.7	3.4	3.0	0.3	▲ 2.5	2.2	
	2月	▲ 3.1	2.7	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 2.8	0.2	▲ 3.6	4
	3月	1.6	2.1	1.5	0.0	2.6	▲ 0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	_
	4月	2.0	3.4	▲ 0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲ 0.2	▲ 0.6	
	5月	▲ 1.0	1.0	1.6	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.4	0.4	0.5	0.0	A
	6月	0.6	3.0		– 1.3	0.6	1.1	▲ 0.8	0.3	▲ 0.9	▲ 0.6	_
	7月	▲ 0.3	3.4	0.1	▲ 9.3	1.3	0.9	▲ 1.7	▲ 0.2	1.2	0.6	
	8月	0.2	2.6			▲ 1.6	▲ 1.0	1.1	0.1	▲ 3.1	1.0	
	9月	0.0	1.6			0.2	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.1	1.8	▲ 0.3	
	10月	0.3	0.5	▲ 1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.4	A
	11月	0.3	3.0	▲ 1.6	▲ 1.4	0.3	▲ 0.7	0.8	1.0	▲ 2.1	0.9	
	12月	0.1	2.4	▲ 0.6	2.4	▲ 0.8	0.0	▲ 1.0	0.3	5.7	▲ 0.4	
05		2.4	3.1	3.6	▲ 3.1	0.6	4.6	2.9	▲ 0.3	0.1	1.9	
	2月	▲ 1.0	1.7	2.3	3.1	0.1	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.9	A

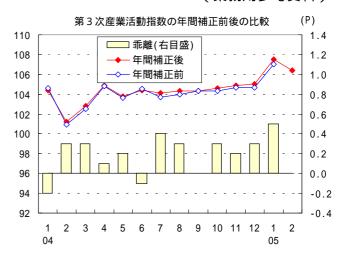
反動減は小幅にとどまる

2月の第3次産業活動指数、全産業活動指数はともに前月比低下となったものの、1月の伸びと比較すれ ば反動減は小幅なものにとどまった。1-3月期の経済活動が底堅く推移していたことが改めて確認された。 2005年2月の第3次産業活動指数は前月比 1.0%となった。今回発表分では同時に年間補正が行われて おり、過去のデータがリバイスされているため単純な比較は難しいが、ほぼ市場予想通り(コンセンサス 1.3%、レンジ 2.3~ 0.4%)といって差し支えないだろう。内訳では、卸・小売業(前月比 2.7%、寄 与度 0.6%P)、医療・福祉業(同 1.9%、寄与度 0.2%P)などが押し下げているが、これらは1月に大 きく伸びた反動の範囲内の動きであり問題はない。むしろ、2月の反動減はかなり限定的だったと言って良 い。実際、1-2月期第3次産業活動指数の対10-12月期比は+2.1%と、卸・小売業に牽引されてかなり高 い伸びとなっている。昨年10-12月期の個人消費は、 台風等の自然災害による外出機会減少や暖冬による 季節商品の需要停滞が家計の消費支出を抑制した、 台風による作物被害等により生鮮野菜の価格が上昇し、 家計の購買力(実質所得)を抑制した、などの非経済的要因により押し下げられていたと考えられるが、年 明け以降にはそうした要因が剥落した結果高い伸びとなったと考えられる。全体としてみれば、個人消費の 底堅い動きに支えられて、第3次産業活動指数の緩やかな改善トレンドが続いていると評価できるだろう。 先行きに関しても、所得の下げ止まりから個人消費が安定的に推移すること等を背景に、(1-3月期ほどでは

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足る と判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容 は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

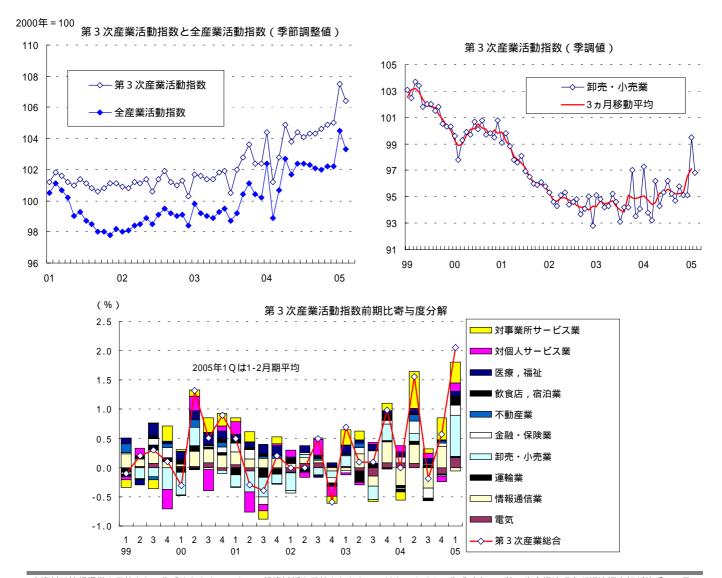
ないにせよ)底堅い推移が続くと予想している。

なお、年間補正前と後の計数を比較すると、全般的に年間補正後の数値が上方修正されている。これは、昨年11月に行われた企業向けサービス価格指数(CSPI)の基準改定の結果を、今回の第3次産業活動指数年間補正に際して、2004年1月に溯って反映させた影響が大きいようだ。この結果、CSPIをデフレーターに用いている情報通信業などを中心に数値が上方改定されている。



1-3月期の高成長を示唆

同時に公表された2月の全産業活動指数も前月比 1.1% (コンセンサス 1.5%、レンジ 2.6% ~ 0.9%)と低下したが、これも1月の急増からの反動に過ぎない。1-2月平均の対10-12月期比は+1.8%という高い伸びである。全産業活動指数は供給側からみたGDPとも呼ばれることがあり、GDPと似た動きをすることが知られている。1-3月期の実質GDP成長率は比較的強めになることは既にコンセンサスになりつつあるが、今回の全産業活動指数の高い伸びは、こうした見方をサポートする一つの材料といえよう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足る と判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容 は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。